

資料4 人流調査結果について

以下の条件で市民病院周辺の人流調査を行いました

人流調査の概要と分析条件

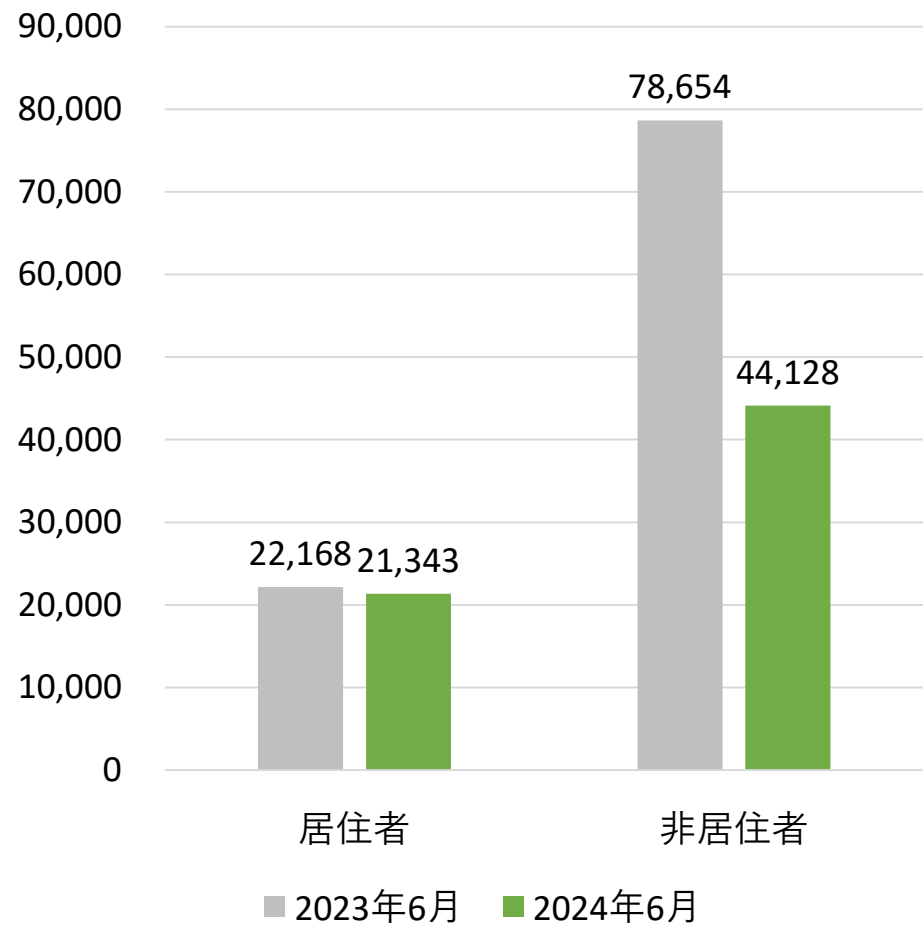
人流調査の概要		調査の条件	
調査の目的	病院閉鎖前後に病院跡地周辺を歩行する人の数の変化を確認する	分析エリア	市民病院を中心とした半径300m圏内
調査に用いるシステム	『KDDI Location Analyzer』	データ取得日	2023年6月、2024年6月（1か月間の総人流） ※病院閉鎖は2024年3月31日
データの種類	KDDIスマートフォンのGPS機能により取得した位置情報データ	データの属性区分	・ 移動手段　： 徒歩、自転車 ・ 性別　　　： 男性／女性 ・ 年齢層　　： 20歳代以上 ・ <u>居住者／非居住者</u>
分析項目	通行人口分析 ： 道路1本1本の通行ごとに通行1名とカウント		

調査エリア		用語の定義	
		用語	説明
		居住者	指定したエリア内に居住している人。 ※エリア内に直近1か月の夜間（22～29時）の最頻滞在地がある場合は居住者としてカウントする。
		非居住者	指定したエリア内に居住していない人。エリアの外から訪れた人。

出所：総務省JSTATmap

病院閉鎖後の跡地周辺では、居住者の通行人口は大きな変化は無いものの、非居住者の通行人口が減少しています

通行人口（居住者／非居住者）



	基準月	合計	2023年6月からの増減率
居住者	2023年6月	22,168	—
	2024年6月	21,343	- 3.7%
非居住者	2023年6月	78,654	—
	2024年6月	44,128	- 43.9%

藤井寺市病院跡地周辺では、病院閉鎖の影響を受けて非居住者の通行人口が減少する傾向がみられます

病院閉鎖前後の人流比較結果

● 居住者の状況

- 2024年6月の居住者は、2023年6月に比して約4%減少した。

● 非居住者の状況

- 2024年6月の非居住者は、2023年6月に比して約44%減少した。

● 考察

- 病院閉鎖による病院関連従事者及び病院患者がいなくなったことにより、非居住者の通行人口が減少したことが考えられる。
- 非居住者は減少したものの、一定程度エリア内を通行する人がいることから、周辺の石川、道明寺天満宮、古墳等の地域資源を目的に来訪する人がいると考えられる。
- 居住者は生活圏であるため、通行人口に対する病院閉鎖の影響は受けにくいと考えられる。